

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ツクルKids(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 2月19日		2025年 3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 2月18日		2025年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達一人ひとりにあった課題の提供	個別支援計画書と年間目標の中で子ども達の今必要であろうと思われる課題の設定や今後必要と思われる課題の設定を一人ひとり行ない、個別の時間を設け支援を行っている。	ご家庭での様子、園での様子をさらに共有し、どのように取り組み進めていくのが子ども達のためになるのか考え共通認識を持ち療育に進めていきたい。
2	保護者の方へのフィードバック	療育終了後に保護者様一人ひとりに時間をとっていただき、その日のお子様の様子を伝達している。口頭だけでは伝わりにくい部分もあるので動画や写真を用いている。また毎回記入している活動記録も翌月にメールで保護者様へ共有している。	今後もお子様のことに対して一緒に共通認識を持っていくように日々の関わりを継続し、保護者の方向士も関わり合いが持てるようにイベントも開催していきたいと思う。
3	療育スペースの確保	子ども達が十分に走り活動できるようにスペースの確保を行なっています。また気持ちの切り替えができるスペースも設定しています。	必要に応じて物の設置場所の変更や安全を考慮した物の変更など日々療育内で確認を続けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の園や地域の方との交流が少ない	祝日は休業日であり、またイベントを平日に開催しても利用者との時間帯が合わず交流に至っていない	長期休暇を利用したり、イベント内容の見直しを行ない、開催に繋げていきたい
2	ペアレントトレーニングの実施や保護者の方向士の交流をもつ機会が少ない	開催数がまだ少なく、定期的の実施が行えていない。	開催頻度の増加、保護者様からの要望を汲み取り開催に繋げていきたい
3	各マニュアルの周知徹底	契約時に地震や津波の際の対応案内については説明を行なっているがその他マニュアルの周知ができていない。	各マニュアルについてHPで公表をおこなったり、案内を強化していく